

ありまふじ里山だより

Vol.17

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.17は棚田里山エリアで見つけた獣道と、里守の会の活動の様子についてお届けします。



イノシシのけものみち

先日、1人里山を歩いていると「んっ!」。ペーパードライバーならぬペーパー猟師としてのアンテナが反応します。

落ち葉にうっすらついた泥。あたりを見渡すと泥の跡は続いていて、辿ってみることに。身を低くして、けもの視線になると、うっすらと道が見えてきます。それにしたがって進んでいくと形跡はしだいに濃くなり、行き着いたのはため池。あたりを観察するといたるところに足跡があり、べつの獣道も伸びています。次はそこを辿ってみると、ササや木には泥が擦りつけられた跡や糞などを発見! さらに歩き進めると最後は別のため池につながっていました。

今回見つけた獣道は、私たちがつくった里山散策路のすぐ脇をまるで側道のように通り、ため池間を行き来しているルートのようなのです。

里守の会、活動日!

活動前に林の生態園エリアに立ち寄り、メンバーから植生や希少種の保全活動などについて教えてもらいます。里山に着いてからは、前回に続き常緑樹や枯死木の伐採をおこないました。